

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

住民投票の実施で 市民の声を聞く姿勢の象徴としての 新庁舎建設を！

田中ははじめ市議が市議会本会議で 住民投票実施に賛成討論

新庁舎建設住民投票条例案は、市長が9月29日の本会議で意見書を付して条例案を提案、10月2日、提出者の意見陳述が行われ、9日の本会議で市長に対する質問、討論、採決が行われました。

松浦市長は、条例提案に付した意見書で、「一定数の市民が署名をされた事実は真摯に受け止める必要がある」としつつ、結論は、「住民投票を実施する必要はない」とし



田中 肇
市議会議員

「出前講座などを行い説明に努める」と答えました。田中市議は、「新庁舎が市民の声に対し聴く耳を持つ市政の象徴として建設されるため、住民投票を実施すべきと考えるが、意見書の立場に変わ

りはないか」と質しました。これに対し、松浦市長は、「これに対し、松浦市長は、田中市議は、「新庁舎が市民の声に対し聴く耳を持つ市政の象徴として建設されるため、住民投票を実施すべきと考えるが、意見書の立場に変わ

「出前講座などを行い説明に努める」と答えました。田中市議は、「新庁舎が市民の声に対し聴く耳を持つ市政の象徴として建設されるため、住民投票を実施すべきと考えるが、意見書の立場に変わ

東出雲公民館との複合施設建設、町民への説明不足を指摘 吉儀けいこ市議一般質問②

吉儀けいこ市議は、9月7日の市議会一般質問で市議団を代表して質問し、東出雲公民館と支所の複合施設建設問題も取り上げました。

東出雲町では来年4月から4公民館を廃止し、一つの公民館としてスタートする計画ですが、現在の下意東・上意



吉儀敬子
市議会議員

東・出雲郷の公民館は4月から公民館がなくなり、どのように建物が使われるのか、東出雲町民には説明が不十分との声が上がっています。

特に下意東公民館の建物は「地震で壊れるので使えない」と考えている下意東住民に対し、耐震基準を満たしており、避難所に指定されていること、4月から下意東公民館を児童クラブとして使う際、公民館を建設した防衛省は地域住民も使えるようすべきとの方針であること、この二つの点を

下意東住民に明らかにすべきではないかと質問しました。清水伸夫教育長は「町民への状況報告の徹底がなされていないなら、地元の方々と協議しながら徹底したい」と答弁しました。

吉儀市議は「災害対策本部となる支所は、避難所となる体育館の隣接地に建設すべき」と主張しましたが、清水教育長は「地域協議会・自治連・地区社協の3団体の了承をもって地域の了解を頂いた」と述べました。

た。同時に、無条件で賛成してきたのではなく、パブリックコメントへの参加が少ないことを指摘し、広く市民の声を取り入れる努力を新庁舎建設委員会の場で求めるなど、必要な意見を述べてきた。住民投票を実施することこそ、新しく建設される市役所新庁舎が、市民の声に対し、聞く耳を持った松江市の政治の象

プラごみ対策、さらなる対応を 橋よしあき市議の一般質問③

橋よしあき市議は9月議会一般質問で、「中海や宍道湖の水質改善、日本海の水産振興を考えると、海洋の生態系を脅かし人間にまで影響を及ぼすプラごみ問題を重視しなければと考えると、幾度かとり上げてきた」と述べ、プラごみ対策の強化を求めました。

政府は、プラスチック製の容器包装のみをプラスチック資源ごみとして回収する方法から、歯ブラシ、文房具、洗面器などのプラ製品も一緒に回収する方針を示しました。政府は、分別しやすく、リサイクルされるプラごみを増やすとし、2年後の実施をめざしています。



橋 祥朗
市議会議員

橋市議は、プラごみが大量に海洋に流失してマイクロプラスチックとなり、海の生物の生態系を脅かす大きな問題となっていること、魚等の食物を通して人体への影響が懸念されているなどを指摘しました。

そのうえで、原料としてのプラスチック使用を減らす取り組みも重要であり、プラスチック製品を避けるための量り売りなどの様々な取り組みも参考に、松江市としても積極的な対策をとるよう求めました。

高橋良次環境保全部長は、「海洋プラスチック等による環境汚染は世界的課題である。プラスチック資源の一括回収は償却や埋め立てから再生利用を増やすことが目的であり、有効だが課題もある。注視して対応する」などと答弁しました。